

生物チャレンジ2008新聞

2007年8月21日(木)

本日より開幕！！

参加者の皆さん、こんにちは。いよいよ今日から生物チャレンジ二次試験が開催されます。まだまだ暑さも厳しいですが、体調は万全でしょうか？

さて、本日から始まる「生物チャレンジ二次試験」ですが、一体どんな大会なのでしょう。生物チャレンジとは、将来性豊かな青少年の皆さんを対象とし、生物の面白さ、楽しさにもっと触れてほしいというメッセージが込められた全国規模のコンテストです。今日から24日までここ筑波大学で行われ、合宿形式をとり、実験問題を中心とした試験や特別講義が展開されます。また、色々な人と交流を深めることもできます。そして、このコンテストは2009年7月12～19日に茨城県つくば市で行われる国際生物学オリンピック（IBO）に繋がる大会でもあります。

IBOは生物学的才能に秀でた学生を集め、才能を伸ばし、将来の科学者の育成などを目的としています。様々な国や地域、機関がIBOに参加し、連携を取り合って生物分野の理解を深めています。1990年にチェコスロバキアで第1回が開催され、早いもので来年2009年には第20回を迎え、日本が開催国になるのはこれが初めてです。

2009年は、進化論を唱えたダーウィンの生誕200年、そして彼の名著「種の起源」の出版150年にあたるという、まさに生物学において重要な年です。このような特別な年に私たちの国でIBOを開催できるということは、とても光栄なことです。

この機会に様々な課題や問題に取り組み、研究の最前線で活躍しておられる先生方のお話を聞き、生物に対する興味・関心をもっと深めていただければ、と思います。

IBOインド大会 号外！

2008年7月13日から20日にかけて、インドのムンバイで第19回国際生物学オリンピックが開催されました。選手は55カ国から計220名が集まり、日本人選手4人もインドの暑さに負けず大健闘しました。


15日の実験試験では動植物の解剖実験や動物行動学の分析を行い、17日には理論試験、と力を尽くした選手たち。彼らの努力は銀メダリスト3人、銅メダリスト1人というかたちで報われました。日本勢としては、銀メダル1つ、銅メダル3つだった前回大会を上回る過去最高の成績を残すことができました。

国際生物学オリンピックでは試験に取り組むだけでなく、タタ基礎科学研究所やネルー科学センターも訪れました。ライバルだった選手たちも、同じフィールドに興味を持つ者同士絆を結んでいたようです。

今日の予定

9:30	開会式 @2H101
10:00-13:00	実験試験
13:00	昼食
14:30-17:30	実験試験
17:30	夕食

今日の天気

8月21日(木)	
天候	曇りのち雨
降水確率	70%
最高気温/最低気温	31℃/22℃

生物学を志すものなら誰もが憧れる国際生物学オリンピック。出場できれば間違いなく自分が想像する以上のものを得ることができるでしょう。今日は生物チャレンジ初日！皆さんが全力を出してオリンピックへの切符を手にすることができますように。

ようこそ つくばへ

一次試験を勝ち抜いてきた、皆さん。おめでとうございます。「つくば」へようこそ。われわれ筑波大の教員も、どんな生徒がやってくるのだろうと、とても楽しみにしています。多分、いろんな面で驚かせてくれるのでしょう。生物学も、他の学問同様、日常生活と深く結びついています。日頃、皆さんが外の世界や自分自身を、どのように感じ、どのように働きかけてきたかが、皆さんの感性、好奇心となって、生物学を究める原動力になっているのでしょう。そんな皆さん、一人一人の感性と出会えることが、我々教員にとってもとても楽しみなことです。

この生物チャレンジ二次試験は、来年同じ場所で開かれる国際生物学オリンピックの代表選抜予選も兼ねています。ですが、みなさん、どうぞ肩の力を抜いて、これから2日間の試験、3日目以降の研究室体験などのプログラムを楽しんでください。筑波大の先生がどんな問題で皆さんの力を試し、研究室体験でどんな経験をさせてくれるのか、お手並み拝見と行きましょう。何十年も生物学に没頭している先生方が、日々培ってきた生物への感性に触れ、新しい生物の見方に、必ずや触れることができるでしょう。どうぞ、力まず、心を開いて、生物との新しい出会いに耳を澄ませてください。楽しい4日間になりすように。



(生物チャレンジ2008二次試験実施委員長 和田 洋)

IBOインド大会 写真集

